

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団では、Tokyo Tokyo FESTIVALの一環として「Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展」を開催します。



## Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展

T C A A .

Tokyo  
Contemporary  
Art Award  
2019-2021

東京都とトーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)は、2018年より中堅アーティストを対象に、受賞から2年にわたる継続的支援によって更なる飛躍を促すことを目的とした現代美術の賞「Tokyo Contemporary Art Award(TCAA)」を実施しています。

第1回となる「TCAA 2019-2021」受賞者の風間サチコと下道基行による、受賞記念展覧会を東京都現代美術館にて開催します。また、展覧会開幕にあわせ、各受賞者のモノグラフ(作品集)を発行します。

### ■ 展覧会概要

展覧会名: Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展

英語タイトル: Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 Exhibition

会期: 2021年3月20日(土・祝)~6月20日(日)

会場: 東京都現代美術館 企画展示室 1F(東京都江東区三好4-1-1)

開館時間: 10:00-18:00

休館日: 月曜日(5月3日は開館)、5月6日

入場料: 無料

主催: 東京都、

公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーアーツアンドスペース・東京都現代美術館

出展作家: 風間サチコ、下道基行

協力: 無人島プロダクション、公益財団法人 福武財団

ウェブサイト: <https://www.tokyocontemporaryartaward.jp/>

※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更等が生じる場合があります。

#### < お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 市川、武智、中村

TEL: 03-5245-1142 FAX: 03-5245-1154 E-mail: [press@tokyoartsandspace.jp](mailto:press@tokyoartsandspace.jp)

## ■ 展覧会について

---

本展では、第1回となる「TCAA 2019-2021」受賞者の風間サチコと下道基行による初期作品から最新作までを展示します。

風間サチコの展覧会タイトルで、最新作シリーズとなる「Magic Mountain」は、新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延する中、ドイツの作家トーマス・マンの『魔の山』から着想を得た、内省による対立からの脱却がテーマとなっています。また、これに関連した、大作を含む過去作品をあわせて展示し、作家の思考の変遷を提示します。

下道基行は、プロジェクトを通じて、作家以外の人の思考が加わったり、人の手に渡る、あるいは人々の中で使われたりすることで「作品」との境界を越境するようなシリーズを展示します。日常生活と直接的に関わることで生み出される作品により、そのはざまにある何かを浮かび上がらせることを試みます。

## ■ モノグラフについて

---

作品画像のほか、作品や制作についての作家の文章、本賞選考委員等による寄稿を掲載したモノグラフ(日英)を展覧会開幕に合わせ、風間サチコ、下道基行の作家ごとに発行します。(非売品)

なお、TCAA ウェブサイトでは2021年3月下旬頃に、モノグラフをPDFデータで公開予定です。

## ■ 関連イベント

---

詳細は後日、TCAA ウェブサイトにてお知らせします。

## ■ 同時開催(東京都現代美術館)

---

企画展 「ライゾマティクス\_マルティプレックス」

「マーク・マンダース —マーク・マンダースの不在」

コレクション展 「MOT コレクション 第3期 コレクションを巻き戻す」

※上記同時開催の展覧会の詳細については東京都現代美術館広報担当までお問い合わせください。

東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 中島・工藤

TEL: 03-5245-1134(直通) FAX: 03-5245-1141 E-mail: mot-pr@mot-art.jp

## ■ 参加作家／略歴／広報用画像



風間サチコ KAZAMA Sachiko

## 【作家の言葉】

感染症の世界的な拡大で海外への渡航が難しい状況で、現実的に身体の移動はできなくても「心と想像力」はどこにでも旅をすることができる……。そんなことをトーマス・マンの結核療養所を舞台にした小説『魔の山』を読みながら考えました。残念ながら TCAA から支援していただく予定だったドイツへのリサーチは中止になりましたが、現下のコロナ禍を機に、私自身の創作の原点「内省と空想・世界と自我の対立と和解」に立ち返り、魔の山リモート登山(心の旅)の経験を生かした新作を中心に今回は展示いたします。

撮影: Yoko Asakai

1972 年東京都生まれ。東京都在住。1996 年武蔵野美術学園版画研究科修了。

「現在」起きている現象の根源を「過去」に探り、「未来」に垂れこむ暗雲を予兆させる黒い木版画を中心に制作する。ひとつの画面にさまざまなモチーフが盛り込まれ構成された木版画は漫画風でナンセンス、黒一色のみの単色でありながら濃淡を駆使するなど多彩な表現を試み、彫刻刀によるシャープな描線によってテーマを巧みに表現する。作品はフィクションの世界だが、制作に際しては古書研究をするなど独自のリサーチを徹底し、現実や歴史の黒い闇を彫りおこすことで、真実から嘘を抉り出し、嘘から真実を描き出す。

近年の主な展覧会に、「日産アートアワード2020 ファイナリストによる新作展」(ニッサン パビリオン、神奈川、2020)、個展「セメントセメタリー」(無人島プロダクション、東京、2020)、個展「風間サチコ展 コンクリート組曲」(黒部市美術館、富山、2019)、個展「ディスリンピア 2680」(原爆の囃丸木美術館、埼玉、2018)、「第11回光州ビエンナーレ The Eighth Climate (What Does Art Do?)」(光州ビエンナーレホール、韓国、2016) など。



## 1. 《ヴァルハラ》

2019、木版画 (パネル、和紙、油性インク)

Courtesy of Kurobe City Art Museum

撮影: 柳原良平



## 2. 《人外交差点》

2013、木版画 (パネル、和紙、油性インク)

Courtesy of Mori Art Museum

Queensland Art Gallery | Gallery of Modern Art 蔵

撮影: 渡邊 修



下道基行 SHITAMICHI Motoyuki

## 【作家の言葉】

昨年より、生まれ育った瀬戸内海地域で、古い郷土資料を収集するプロジェクトを始めた。さらに、今年3月には瀬戸内海の島に家族で移り住んだ。その直後に新型コロナウイルスの流行が始まり、小さな島に閉じ込められて生活することになった。静かな島で、過去の資料を集めて読んでいく日々。これまでは旅や移動の日々であったが、新しい生活を模索している。

TCAA を受賞して、大胆に活動範囲を広げようと計画していたが、逆に、小さな世界で未来を静かに考える時間を送ることになっている。

1978年岡山県生まれ。香川県在住。2001年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。

砲台や戦闘機の格納庫など日本各地に残る軍事施設跡を4年間かけて調査・撮影し、出版もされた「戦争のかたち」シリーズ(2001-2005)や、アメリカ・台湾・ロシア・韓国など日本の植民地時代の遺構として残る鳥居を撮影した代表的なシリーズ「torii」(2006-2012)など、旅やフィールドワークをベースにした制作活動で知られる。風景のドキュメントでも、歴史的な事実のアーカイブでもない。生活のなかに埋没して忘却されかけている物語、あるいは些細すぎて明確には意識化されない日常的な物事を、写真やイベント、インタビューなどの手法によって編集することで顕在化させ、現代の私たちにとってもいまだ地続きの出来事として「再」提示する。

近年の主な展覧会に、「現代アートにおける「時間」」(高松市美術館、香川、2020)、個展「漂泊之碑」(大原美術館／有隣荘、岡山、2019)、「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」(第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館、2019)、「MOVING STONES」(KADIST、パリ、2018)など。



3. 《漂泊之碑》2015-、ガラス、ミクストメディア



4. 《瀬戸内「百年観光」資料館》2020

## 【海外活動】

本賞受賞2年目の2019年度に、下道基行は中国、イタリアへ渡航しました。海外活動の詳細は、TCAA 特設サイト内海外活動支援ページにて公開しています。  
(<https://www.tokyocontemporaryartaward.jp/column/>)

## ■ 本賞の概要

Tokyo Contemporary Art Award(TCAA)は、2018年に東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペースによって創設された、海外での展開も含め、更なる飛躍とポテンシャルが期待できる国内の中堅アーティストを対象とした新たな現代美術の賞です。

アーティストのキャリアにとって最適な時期に最善の支援内容を提供する必要性を重視し、受賞者の選考は、選考委員によるアーティストのリサーチやスタジオ訪問により、制作の背景や作品表現、キャリアステージへの理解を深めた上で行われます。

受賞者に対しては、海外での活動支援のほか、東京都現代美術館での展覧会およびモノグラフ(日英)の作成など、複数年に渡る継続的な支援を行います。

### 【受賞者支援内容】

- 1) 賞金 300 万円
- 2) 海外での制作活動支援上限 100 万円(旅費、滞在費、調査制作費等)
- 3) 展覧会実施(東京都現代美術館での展示)
- 4) モノグラフ(作品集)の作成(上記3)の展示にあわせて制作)

### 【スケジュール】



## ■ TCAA 2019-2021 について

### 【選考委員】

神谷幸江 (ジャパン・ソサエティー、ニューヨーク ギャラリー・ディレクター)

住友文彦 (アーツ前橋 館長/東京藝術大学大学院 准教授)

ドリユン・チョン (M+ 副館長/チーフ・キュレーター)

マリア・リンド (キュレーター、ライター、エドゥケーター)

キャロル・インハ・ルー (北京インサイドアウト美術館 ディレクター)

近藤由紀 (トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター)

(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 トーキョーアーツアンドスペース事業課長)

### 【選考方法】

2018年7月~8月に公募を行い、選考委員に公募者を含む候補アーティストの推薦を依頼、議論によりノミネートアーティストを選出。その後、各アーティストの事前調査、スタジオ訪問や面接など、直接対話による審査を経て、2名の受賞者を決定しました。

### 【授賞式及び受賞記念シンポジウムの様子】 2019年4月21日(日)開催

